集会所の大王松（ダイオウショウ）

地域の力で笑顔あふれる

まつがさき

2023
（令和5年）
創刊号

町会員数 2,302
（令和5年1月現在）

町会は、地域の皆さんが安全で安心して暮らせるよう貢献しています。

町会広報誌発行のあいさつ　会長　長妻　孝一

皆様には日頃、町会運営にご協力いただき感謝申し上げます。

およそ3年間、コロナ禍で自粛してきた生活が5月には少し緩和され、松ヶ崎自慢の桜も満開の出番を待っています。今年は久しぶりに、少しほっとした春が訪れそうです。

この間、松ヶ崎地域は宅地開発が進み、転入された世帯が一段と増えました。それに伴い、ごみ集積所は？災害時避難場所は？町会のエリアはどこまで？等困惑している方がおられると思います。

そこで町会では、松ヶ崎が活性化しふれあいの輪が一層深まるよう、「町会活動紹介」と「住民ふれあい」の情報誌、広報「まつがさき」を発行（３月と９月の年間２回）することといたしました。

これからも、だれもが気軽に声をかけあえる街、笑顔あふれる街「松ヶ崎」となるよう、尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

編集：発行日 令和5年3月10日

環 境 部　地域の環境・美化支援活動

5/28 ◇ごみゼロ運動（3年ぶり）　参加者312名

集会所と中央高校前の２ヶ所で8時30分～10時まで行われました。

　朝早くから松ヶ崎の環境美化活動へのご協力を頂きまして有難うございました。親子でご参加やご近所さんと一緒に足を運んで頂いた姿が見えました。天候にも恵まれ、多くの方にご参加いただきました。

きまりを守って
清潔な松ヶ崎にしましょう！

◇ゴミネット・ボックス設置

令和４年度は６ヶ所にごみネットボックスを設置しました。

▲上：竹ノ台下地区（精米機脇）
　下：西坪地区（消防小屋前）

文 化 部　歴史や文化、盆踊りなどの支援活動

11/27 ◇ふれあいウォーキング（初開催）　参加者94名

▶香取神社

▶大堀川遊歩道

▶松ヶ崎城跡公園

　松ヶ崎の豊かな自然と歴史を散策しながら、楽しく体力向上が図れるよう「第1回ふれあいウォーキング」を実施しました。多くの皆様に参加して頂き、美しい松ヶ崎の晩秋風景を楽しみ親睦を深め、リフレッシュしました。当日は天候に恵まれ風のないウォーキング日和で大堀川沿いでは、富士山も見えました。

福祉部　安心して生活できる支援や活動

◇民生委員・児童委員の紹介

令和4年12月1日に
出山 敏子さん、根本 京子さん
長妻 紀子さん、城所 静枝さん
東　壽子さん の5名が再任され、
根本 茂子さんが加わり、
6名体制になりました。

防災部　災害発生時の防災・災害援助・救援支援

7/3 ◇発電機点検

町会が所有する７台の発電機点検を行いました。発電機は災害時に使用する、井戸のポンプや電灯の発電に使用します。

1/28 ◇AED講習会

ふるさとセンターで講師による救助時の声掛け・心肺蘇生・AEDの使い方の指導を受けました。

　集会所に続いて、２ヶ所目の AED をふるさとセンターに設置しました。講師を招き、事故や病気など、緊急時に対応できるように講習会を行いました。コロナウイルス感染防止のため人数制限で施設利用団体様のみで行い、救助時の声掛け・心肺蘇生法の手順や AED の操作手順と保管ボックスからの取り出し方の指導を頂きました。AED は屋外に設置してありますので 24 時間使用可能です。

◀令和４年度設置

AED（ふるさとセンター）

◀令和３年度設置

AED（集会所）

防犯部　地域の安心・安全・支援・啓発活動

◇防犯灯・カーブミラー設置、防犯パトロール

▲防犯エンジョイパトロール
（今年度は、防犯部と地域の有志で月２回地域のパトロールを実施）

▲防犯灯・カーブミラー（仲坪地区・竹ノ台上地区）
（今年度は、防犯灯 18 ヶ所、カーブミラー２ヶ所に設置）

☆防犯灯（街路灯）の維持管理　町内559灯設置

　夜道を照らす灯かりは、町会によってその機能を維持しています。新しい防犯灯の設置に関する各種手配・調整やその設置費用の負担、故障時の対応や電気料金の支払いなど、貴重な会費で維持管理されています。

町内で防犯灯が消えていましたらお知らせください

総務部　世帯数の把握や情報発信の活動

◇掲示板の設置

◀西坪地区

　町内には13カ所に掲示板を設置しています。町会や各団体・市・学校・警察などからの重要な情報を掲示しております。

集会所のトイレを改修しました。和式のトイレを洋式のトイレに変更し取っ手も付きました。

洗面台がひとつになり、車椅子が通れるようになりました。

防災関連機関	(市外局 04)
柏市役所	7167-1111(代)
柏市消防局	7133-0119
柏警察署	7148-0110
高田近隣センター	7144-9292
根戸近隣センター	7131-6098
松葉近隣センター	7133-2200
柏市立病院	7134-2000
柏厚生総合病院	7145-1111

表記	名称
(避難所兼避難場所マーク)	避難所兼避難場所
(避難場所マーク)	避難場所
(井マーク)	災害時協力井戸
AED	AED設置場所
(ヘリコプターマーク)	ヘリコプター臨時離発着場
(蛇口マーク)	防災井戸・応急給水所

2021年度、全世帯に配布した防災マップです。尚、残部があります。大変便利なので必要な方はご連絡ください。

柏中央高校 創立40周年記念

松ヶ崎・大堀川のいきものガイド

今年度、全世帯に配布して好評だった「いきものガイド」の作成について、科学部員・顧問の方から感想を頂きました。

柏中央高等学校 科学部 による力作

≪科学部部員の生徒から≫

・調査観察で思い出に残る楽しいこと

四季ごとに移り変わる景色を見るだけでも楽しいのですが、日々観察できる昆虫、鳥、植物が変わっていくので、それらを見て更に新たな発見ができると何ものにもかえがたい快感を味わえます。

・自分の中で変わったこと、考え方・行動など

ガイドブック作成にあたり、自分の調べたものについては分かるのですが、自分の知らない生物に関しては自主的に調べようと考えるようになりました。

・自然の大切さを伝えるなら

私たちの住む地域には自然がたくさんありますが、場所によっては周りが高層ビルしか見られないところがあるというのが現状です。しかし自然にはその中を歩いているだけでとてつもないリラックス効果がえられます。このストレス社会においては、リラックスすることは生きていくうえで大変重要なことであり、だからこそ自然が私たちの身近にあるということに感謝をし、保護する姿勢が大切だと思います。

≪顧問の先生から≫

・調査期間

科学部の日常活動や部員・顧問個々の調査や観察がもとになっているので、長期的な目で見ると数年かけたものをまとめています。合わせて、ガイドブックを作成することが決定してから完成までの約 1 年間で不足している生き物の観察をしたり、地域の方から調査データをいただいたりしながら完成に至りました。

・調査・観察して見えた松ヶ崎の良いところ

大堀川や松ヶ崎城跡の生物の種類をまとめてみると、生物相が非常に豊かな地区であることがわかりました。周辺の有名な場所に匹敵します。これは川と土手、農地、森林など多様な自然環境が存在しているからだと思います。また、ガイドブックを製作したことで、多くの方から声をかけられたり、感謝のお手紙を頂きました。地元愛に溢れ、自然を大切にされる方が大勢おられる地区であることを感じました。

・生徒さんの姿勢や反応（変化など）

普段松ヶ崎を歩いていて生き物に出会っても、「植物、虫、鳥、魚」などと大まかな分類だけで、深く考えないことが多いと思います。しかしガイドブック作成にあたり意識的にそれらの生き物を見ることで、なぜここに暮らしているのか、そしてどのように生き物同士がつながっているのか、自然の営みの奥深さを知ることができました。そしてガイドブックが完成した際には達成感と共に地域の皆さまとのつながりも改めて感じることができました。生徒たちも科学部の日常活動は多くの方に支えられていることを実感しています。今後もこの地域の自然一つひとつに注目して日々の活動に邁進していきたいです。

編集後記

コロナ禍の制限された中で、出来る事はないかと役員・評議員が考案した「ふれあいウォーキング」で “ふるさとまつがさき” の歴史と秋の景色に触れて、松ヶ崎の良さを感じられたら幸いです。
今年の夏に、太鼓の音を聞くことが出来るか、まだわかりませんが笑顔あふれる地域づくりをしていきたいです。